

第二次改築整備工事について

- 地域医療の中核として信頼される高機能急性期病院を目指して -

はじめに

本院では、地域の中核病院としてふさわしい時代に見合った医療を提供し、また、建物の老朽化を解消し耐震化を図るため、平成8年に第一次改築整備工事を行いました。

第一次改築整備工事においては、平成9年にA棟が竣工、平成12年にB棟が竣工し、病院全体の50%の建物の老朽化解消と耐震化を達成しております。それから10年間は、病院を取り巻く経営環境の変化等から、第二次整備工事への着手ができずにおりましたが、今般、残りの50%の耐震化を達成するべく平成23年2月28日に第二次改築整備工事を起工いたしました。

着工にあたりましては、地域住民の皆さま、京都府、京都市をはじめとする行政関係各位、また、現在工事により大変なご不便をお掛けしている患者さまからも暖かいご激励とご指導、ご高配を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

今般の改築整備工事においても、建物の老朽化解消と耐震化によって、安心・安全の医療を提供し、災害に強い病院として地域に貢献いたします。また、救急医療、がん診療、周産期医療等に確実、迅速に対応できるよう、新たに重症管理病床を設置、放射線機器等を充実させ、地域医療の中核として信頼される高機能急性期病院を目指します。

なお、新型インフルエンザ等の新型感染症が発症した場合にも対応が可能な感染病床として9床の整備を行い、さらに、カフェ、コンビニ等のアメニティの充実、立体駐車場(150台 280台)の整備等もあわせて行う計画です。

工事期間中は、安全に十分な配慮をしたうえで改築整備を円滑に遂行する所存ですので、今後とも関係各位の格別のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます

概要(予定)

場所 京都府京都市東山区本町15丁目749番地

規模

建床面積 床面積 32337.52 m² (立体駐車場：4,337.00 m²含む)
7,028.27 m² (立体駐車場：1,520.94 m²含む)

構造 鉄筋コンクリート・鉄骨造、耐震構造

棟数	4棟	地上5階、地下1階	15,925.27 m ²
		地上5階	12,075.22 m ²
		地上3階	3,800.03 m ²
		地上2階	537.00 m ²

病床数	新設病床	196床(うち感染病床9床)
	既存病床	472床
	計	668床

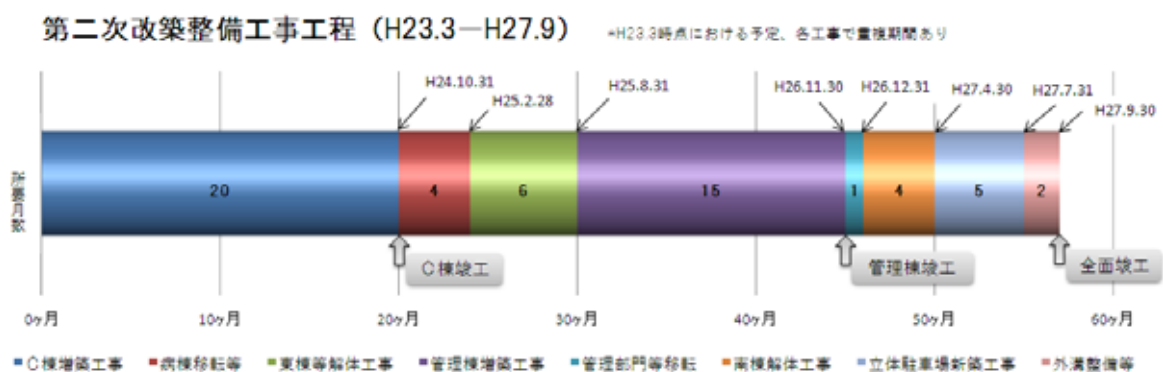
工期	着手	平成22年12月
	完成	平成27年9月

施工 清水・岡野特定建設工事共同企業体
 設計監理 内藤建築事務所

各階概要



改築工程 (予定)



改築中の院内案内資料

[「改築中病院配置図」](#)

[「改築中の院内経路について」](#)

完成予想図

